

令和4年8月29日

北海道立消費生活センター事務職員の新型コロナウイルス
感染と施設の一部閉鎖について

当センターに勤務する事務職員3名が、8月25日から26日にかけて新型コロナウイルスに感染していることがわかりました。

当該職員は、事務局内部で教育啓発業務に従事しており、発症する前まで来所される方々と直接接触する業務をしていた者もおります。直接対応中は、マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底しており、利用者の方々とは、アクリル板や遮断幕を挟んで対応をする等、対策を講じておりました。

施設内は、平時から清掃・消毒作業を行っており、当該職員が感染の陽性であることが判明した25日、26日には、あらためて消毒作業を行いました。

現在のところ、内部に濃厚接触者に該当する者はおらず、発熱等の異常を訴える者もおりませんが、同じ教育啓発グループから複数人の感染となったことをうけ、当該グループの職員は、8月29～30日の2日間は自宅待機としています。

また、教育啓発グループが使用する頻度の高い、1階「展示ホール」、2階「くらしの広場(事務室含む)」「くらしの教室」につきましては、消毒作業等のために8月29～30日の2日間を閉鎖し、一般の来所の方々を含め往来を控えていただいております。

これまでも当センターでは、職員の出勤前の検温、手洗いや手指消毒、マスクの着用、事務室出入り口の消毒液設置など職場内の感染予防のほか、施設内での感染予防策として、利用される方が入館する際の検温、手指消毒、会話をする際のマスク着用、展示ホールの見学時のソーシャルディスタンスの確保、毎朝と事業終了後の清掃・消毒作業に取り組んでまいりました。

今後も、感染拡大防止に最大限努めて参ります。

利用者のみなさまには、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道立消費生活センター
(指定管理者
一般社団法人北海道消費者協会)